

専門実践教育訓練明示書（久米田看護専門学校）

講座の名称	看護師3年課程看護学科			
実施方法	① 通学（昼間）			
指定講座番号	7	7	0	5
講座の創設年月日	昭和63年4月1日	平成33年3月31日まで	過去一年の講座実績	入講者数(35人)
訓練期間	36ヶ月		総訓練時間	3045時間
1. 教育訓練目標				
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格（看護師） <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程（ ） <input type="checkbox"/> 専門職学位（ ） 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 ・専門士			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	本学に原則3年間以上在籍し、履修科目92科目を履修し、卒業単位103単位を履修すること、かつ欠席日数が出席すべき日数の3分の1以下であることが学校運営会議の議を経て認定されると、卒業が認定され受験資格が与えられる。			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	看護の技能・知識が発揮される病院等の医療機関や医療に関連する業務に就き、幅広く活躍している。 ・職種：看護師 ・職務：看護業務等 ・活用されている業界：医療、保健、福祉業界 ・活用状況：ほぼ100%			
2. 教育訓練の内容				
	教科（カリキュラム）	時間	使用教材名	
基礎分野	生物学	30	生物学	
	心理学	30	看護学生のための心理学	
専門基礎分野	解剖生理学Ⅰ～Ⅵ	90	解剖生理学	
	病理学	30	病理学	
	公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ	30	公衆衛生	
	関係法規Ⅰ・Ⅱ	30	看護関連法令	
専門分野	看護学概論	30	看護学概論	
	臨床看護総論Ⅰ・Ⅱ	75	臨床看護総論	
	成人看護学総論	30	成人看護学総論	
	小児臨床看護論Ⅰ・Ⅱ	60	小児臨床看護総論	
統合分野	在宅看護総論Ⅰ・Ⅱ	30	在宅看護論	
	その他の教科		関連する教科書及び資料	
* 別添「別表1 授業科目、単位数及び授業時間数」参照				
3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）				
①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	学歴要件：高等学校卒業			
③その他	特になし			
〔特記事項〕				
特になし				

専門実践教育訓練明示書 (久米田看護専門学校)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1) 資格取得状況					
① 前年度の修了者数	29	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	37	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	29	人	受験率(③/②)	78.4	%
④ ③のうち合格者数	28	人	合格率(④/③)	96.6	%
⑤ ②(入講数)のうち就職者数 ※1	27	人			
⑥ ②(入講数)のうち在職者数 ※2	0	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)	73.0	%
※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。 この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。					
※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。					
(2) 受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数		29	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員		人	②A: 就業者計	0
	2 非正社員、派遣社員		人		
	3 その他の就業(自営業等)		人		
	4 学生	29	人	②B: 非就業者計	0
	5 求職中		人		
	6 その他(主婦、無職等)		人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ		人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	0
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる		人		
	3 社内外の評価が高まる		人		
	4 円滑な転職に役立つ		人		
	5 趣味・教養に役立つ		人		
	6 その他の効果		人		
	7 特に効果はない		人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	3	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	29
	2 希望の職種・業界で就職できる	17	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	7	人		
	4 趣味・教養に役立つ		人		
	5 その他の効果	2	人		
	6 特に効果はない		人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	28	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	29
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した		人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した		人		
	4 就職していない	1	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	13	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	29
	2 おおむね満足	15	人		
	3 どちらとも言えない	1	人		
	4 やや不満		人		
	5 大いに不満		人		
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		各受講科目ごとに評価試験を実施し、100点満点で60点以上を合格とし、単位を与える。60点未満は再受講が必要となる。			
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					

専門実践教育訓練明示書（久米田看護専門学校）

6. 受講効果の把握方法																	
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	当該単位に対する授業時間数の3分の2以上出席した者に試験を実施し、成績は100点満点とし、60点以上をもって合格とする。																
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	試験の結果、成績が合格に達しなかった場合は、当該科目の再試験、再実習を行うことがある。再試験、再実習の成績は、60点以上をもって合格とする。ただし、60点を超えるものであっても、60点として取り扱う。																
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	学則別表1に定める授業科目を履修し、その単位を取得した者に対し、学校運営会議の議を経て卒業を認定する。欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超える者については、卒業を認めない。																
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	出席状況および単位修得状況の確認 年度内に所定の単位が取得できなかった者は、当該未取得単位について、次年度以降改めて履修しなければならない。																
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法																	
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	クラス担当教員およびチューター教員、実習担当教員が、成績を把握し、定期的に面接し、必要時実技演習を行っている。																
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 <small>(例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)</small>	国家試験担当教員が定期的に模擬試験を計画し、試験結果の評価を行い、チューター教員に情報提供する。また、1年次からクイックリファレンスに基づき、国家試験ノートに学習内容を記載し、定期的の実施状況を点検している。就職担当教員および教員が就職相談に応じ、模擬面接等を実施している。また、実習病院の職員を招聘し就職説明会を開催している。																
8. その他の事項																	
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	医療法人 利田会	(代表者名： 利田 泰之)															
住所及び連絡先	大阪府岸和田市尾生町6丁目12-31	TEL	072-445-3545														
施設名称及び施設長名	久米田看護専門学校	(施設長： 利田 泰之)															
住所及び連絡先	大阪府岸和田市尾生町2955	TEL	072-445-4149														
苦情受付者	氏名 石田 裕則 所属 事務室	事務担当者	氏名 石田 裕則 所属 事務室														
連絡先	TEL 072-445-4149	連絡先	TEL 072-445-4149														
専門実践教育訓練経費 支払い方法 ① 一括払	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		1,603,300 円														
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		300,000 円														
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">第1期</td> <td style="text-align: right;">253,300 円</td> </tr> <tr> <td>第2期</td> <td style="text-align: right;">210,000 円</td> </tr> <tr> <td>第3期</td> <td style="text-align: right;">210,000 円</td> </tr> <tr> <td>第4期</td> <td style="text-align: right;">210,000 円</td> </tr> <tr> <td>第5期</td> <td style="text-align: right;">210,000 円</td> </tr> <tr> <td>第6期</td> <td style="text-align: right;">210,000 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">(うち、必須教材費 43,300 円)</td> </tr> </table>	第1期	253,300 円	第2期	210,000 円	第3期	210,000 円	第4期	210,000 円	第5期	210,000 円	第6期	210,000 円	(うち、必須教材費 43,300 円)		1,303,300 円
第1期	253,300 円																
第2期	210,000 円																
第3期	210,000 円																
第4期	210,000 円																
第5期	210,000 円																
第6期	210,000 円																
(うち、必須教材費 43,300 円)																	
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		853,194														
	① 任意の教材費(税込額)		232,358 円														
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		48,520 円														
	③ 施設維持費(税込額)		360,000 円														
	④ その他(ワクチン代、傷害保険料、制服代等) (税込額)		212,316 円														
	3. 総額 (1+2) (税込額)		2,456,494 円														

別表 1 授業科目、単位数及び授業時間数

		科 目		単位数	時間数			科 目		単位数	時間数
基礎分野	科学的思考の 基盤	哲 学 I	1	15	専 門 分 野 II	成人看護学	成人看護学総論	1	30		
		哲 学 II	1	15			成人臨床看護論 I	1	30		
		生 物 学	1	30			成人臨床看護論 II	1	30		
		情 報 科 学	1	30			成人臨床看護論 III	1	30		
		文 学	1	30			成人臨床看護論 IV	1	30		
	心 理 学	1	30	成人臨床看護論 V			1	30			
	社 会 学	1	30	成人看護学特論			1	30			
	人間と生活・社会の 理解	教 育 学	1	30		老年看護学	老年看護学総論	1	30		
		文 化 人 類 学	1	30			老年臨床看護論 I	1	15		
		英 語 I	1	30			老年臨床看護論 II	1	30		
		(選 択) 英 語 II / 手 話	1	30			老年看護実践論	1	15		
		保 健 体 育	1	30		小児看護学	小児看護学総論	1	30		
	舞 台 芸 術	1	15	小児臨床看護論 I			1	30			
	小 計	13	345	小児臨床看護論 II			1	30			
専門基礎分野	人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進	解 剖 生 理 学 I	1	15	母性看護学	母性看護学総論	1	30			
		解 剖 生 理 学 II	1	15		母性臨床看護論 I	1	30			
		解 剖 生 理 学 III	1	15		母性臨床看護論 II	1	30			
		解 剖 生 理 学 IV	1	15	精神看護学	母性看護実践論	1	15			
		解 剖 生 理 学 V	1	15		精神看護学総論	1	15			
		解 剖 生 理 学 VI	1	15		精神保健論	1	30			
		病 理 学	1	30	精神臨床看護論	1	30				
		臨 床 病 態 学 I	1	30	精神看護実践論	1	15				
		臨 床 病 態 学 II	1	30	臨 地 実 習	成人	成人看護学実習 I	2	90		
		臨 床 病 態 学 III	1	30			成人看護学実習 II	2	90		
		臨 床 病 態 学 IV	1	30			成人看護学実習 III	2	90		
		臨 床 病 態 学 V	1	30		老年	老年看護学実習 I	2	90		
		臨 床 病 態 学 VI	1	30			老年看護学実習 II	2	90		
		臨 床 病 態 学 VII	1	30		小児 母性 精神	小児看護学実習	2	90		
		生 化 学	1	30			母性看護学実習	2	90		
		微 生 物 学	1	15	精神看護学実習	2	90				
		薬 理 学	1	30	小 計	39	1,320				
		栄 養 学	1	15	統 合 分 野	在宅看護論	在宅看護総論 I	1	15		
	精 神 医 学	1	15	在宅看護総論 II			1	15			
	健康支援と社会 保障制度	公 衆 衛 生 学 I	1	15			在宅看護基本技術論	1	15		
		公 衆 衛 生 学 II	1	15			在宅看護実践論	1	15		
		社 会 福 祉 I	1	15		看護の研究	1	45			
		社 会 福 祉 II	1	15		感染看護論	1	15			
		関 係 法 規 I	1	15		災害看護論	1	15			
		関 係 法 規 II	1	15		看護管理論	1	15			
小 計	25	525	実 習 地	臨床看護の 実践		1	30				
専門分野 I	基礎看護学	看 護 学 概 論		1		30	在宅看護論 実習	2	90		
		共 通 基 本 技 術 論 I		1	45	統 合 実 習	2	90			
		共 通 基 本 技 術 論 II	1	30	小 計	13	360				
		生 活 援 助 技 術 論 I	1	30	合 計	103	3,045				
		生 活 援 助 技 術 論 II	1	30							
		生 活 援 助 技 術 論 III	1	30							
		診 療 補 助 技 術 論	1	45							
		臨 床 看 護 総 論 I	1	30							
	臨 床 看 護 総 論 II	1	45								
	基 礎 看 護 学 特 論	1	45								
実 習 地	基 礎 看 護 学 実 習 I	1	45								
	基 礎 看 護 学 実 習 II	2	90								
小 計	13	495									